

お知らせ

平成30年7月22日

■ 同時発表先: 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

海洋環境整備船による瀬戸内海沿岸の漂流物の回収及び  
呉市からの支援要請による呉港内の漂流物の回収  
【平成30年7月22日の回収状況】

～「おんど2000」「Dr.海洋」による回収作業～

～全国で初めて港湾法の規定の適用による呉港内の回収作業の実施～

7月5日から8日にかけて、西日本に降り続いた記録的な豪雨により、広島湾から三原沖にかけて確認された、流木などの漂流物を海洋環境整備船「おんど2000」（中国地方整備局所属）、「Dr.海洋」（近畿地方整備局所属）で回収作業を行っています。

また、呉港の港湾管理者である呉市からの要請に基づき、全国で初めて港湾法五十五条の三の三の規定の適用により、非常災害の場合における国土交通大臣による港湾施設の管理として、7月16日より呉港内の漂流物の回収も行っております。



「おんど2000」（中国地方整備局所属）



「Dr. 海洋」（近畿地方整備局所属）

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局

(全般) 港湾空港部 海洋環境・技術課長

矢野 博文(やの ひろふみ) TEL:082-511-3908

広島港湾・空港整備事務所 副所長

出口 和也(でぐち かずや) TEL:082-254-6411

(広報担当窓口) 広報広聴対策官

岩下 恭久(いわした やすひさ) TEL:082-511-6009

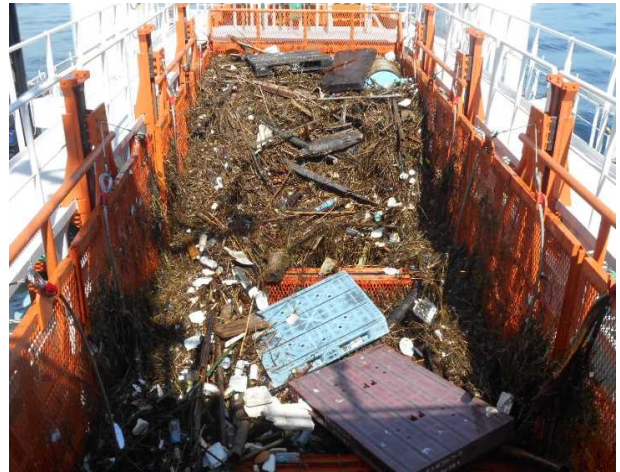
## 7月22日の主な回収場所



「Dr. 海洋」近畿地方整備局



漂流物の状況(上蒲刈島付近)



流木・葦類の回収(上蒲刈島付近)

### ■これまでの漂流物の回収量（7月9日～22日（速報値））

船名	7月9日～21日	7月22日	合計
おんど2000	485 <sup>m</sup> (流木310本、葦類等)	—	485 <sup>m</sup> (流木310本、葦類等)
Dr.海洋、 クリーンはりま ※1	289 <sup>m</sup> (流木36本、葦類等)	26 <sup>m</sup> (流木3本、葦類等)	315 <sup>m</sup> (流木39本、葦類等)
がんだりゅう ※2	139 <sup>m</sup> (流木42本、葦類等)	—	139 <sup>m</sup> (流木42本、葦類等)
合計	913 <sup>m</sup> (流木388本、葦類等)	26 <sup>m</sup> (流木3本、葦類等)	939 <sup>m</sup> (流木391本、葦類等)

漂流物の回収量については（ ）内の数量等を含む。

※1 「Dr.海洋」は7月20日より「クリーンはりま」と入れ替わりで作業を実施。

※2 「がんだりゅう」は担務海域での漂流物の回収のため、7月21日に帰港しました。

《参考値》

平成29年4月～平成30年3月の年間の『おんど2000』での漂流物回収量：1,540<sup>m</sup>